

(別紙5)

整理番号 2019M-010  
補助事業名 2019年度 ロボット産業・技術振興に関する調査研究等補助事業  
補助事業者名 一般社団法人 日本機械機械工業連合会

## 1 補助事業の概要

### (1) 事業の目的

2015年2月に政府から「ロボット新戦略」が公表され、製造現場から日常生活まで様々な場面でロボットが活用され、ロボットが新たな付加価値を生み出す社会の実現が提唱されている。

日本機械工業連合会は経済産業省との共催により2006年度より「ロボット大賞」表彰事業を実施してきた。2016年度・第7回ロボット大賞からは総務省、文部科学省、厚生労働省、農林水産省、国土交通省が新たに共催者として加わっている。

本事業は優秀事例を表彰することにより①ロボット関係者にモチベーションを与える ②ベストプラクティスの紹介によりロボット技術の普及を図る ③ロボットの社会実装の促進 ④研究開発の高度化 ⑤人材育成等を目的としており、「生活の質の改善」に資するロボットの実現を支援している。

### (2) 実施内容

「ロボット大賞」表彰は2009年度から隔年開催としており、非表彰年度である2019年度は、ロボット大賞審査特別委員会の下部組織である審査・運営委員会（委員長・浅間 一 東京大学 教授）において、2020年度「第9回ロボット大賞」の検討及びロボット産業・技術に係る最新の社会・産業動向等の調査・分析を行った。その成果を「調査研究報告書」としてまとめ、ロボット関係者に公表した。

#### ① 2020年度「第9回ロボット大賞」実施に向けての改善

- (1) ICT関連の応募増のためICT基盤技術部門及びICT利活用分野を新設
- (2) 介護・医療分野に健康分野を追加
- (3) 日程計画を改善。現地調査などの審査に十分な時間を振り向ける
- (4) 運営改善のため実施要項、審査要領、募集要項等を改定

#### ② 最新のロボット市場動向・技術動向についての調査研究

調査研究の成果を「調査研究報告書」としてまとめた。ロボット関係者のニーズに応えるものとして、以下の章立てとした。

第1章 本調査研究事業の背景と目的

第2章 産業用ロボット・サービスロボットの国内外市場・技術動向についての調査・考察。特に高度ICT基盤技術・ICT利活用分野、介護・医療・健康分野、社会インフラ・災害対応・消防分野、農林水産業・食品産業分野、その他先端素材等の最新の研究開発についての最新動向

- 第3章 ロボットシステムインテグレータの現状と今後の発展・動向
- 第4章 ロボット革命イニシアティブ協議会による取り組み
- 第5章 「2019 国際ロボット展」における最新のロボット市場・技術トレンド
- 第6章 「World Robot Summit 2018」の開催結果と 2020 本大会に向けての課題
- 第7章 「第8回ロボット大賞」表彰事業の概要、および表彰式の紹介
- 第8章 次回「第9回ロボット大賞」に向けての提言

③ ロボット大賞広報

2019 国際ロボット展に「第8回ロボット大賞」受賞ロボットを展示し、表彰事業の広報を行った。「ロボット大賞」ガイドブック：7,000部、広報リーフレット：13,000部を配布した。

2019 国際ロボット展の入場者数は、141,133人で、2年前の2017 国際ロボット展の130,480人から増加となった。

④ 受賞ロボットアンケート調査

「第8回ロボット大賞」の受賞者に受賞の効果等をアンケート調査した。

受賞全12社・団体から「ロボット大賞」受賞による効果・反響があったとの回答を得た。具体的な効果としては、販売・導入・契約数の増加、広告効果（知名度、ブランド力向上）、研究の発展・加速などが上げられている。

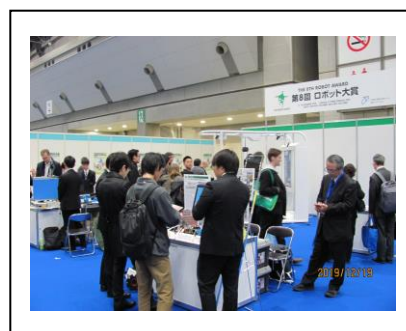
アンケート結果は、ガイドブック、リーフレット、調査研究報告書などに掲載して広報した。

⑤ 調査研究報告書の発行

調査研究活動の成果を「調査研究報告書」にまとめ、700部を印刷してロボット関係者に配布した。また、日本機械工業連合会HPに掲載した。



ロボット大賞審査・運営委員会



2019 国際ロボット展

(別紙5)



ガイドブック



リーフレット



調査研究報告書

## 2 予想される事業実施効果

(1) 「調査研究報告書」発行により、ロボット・ロボットシステムの研究・開発・製造・利用に関わる企業、大学、研究機関などのロボット関係者に必要とされる最新の情報を提供することができる。

また、本書を通じて「ロボット大賞」表彰事業の認知度向上に役立つことができる。

(2) 2020年度・第9回ロボット大賞実施への効果：同表彰事業の成功に向け効果的・効率的な運営に役立てることができる。

## 3 補助事業に係る成果物

(1) 補助事業により作成したもの

① 2019年度 ロボット産業・技術の振興に関する調査研究報告書 700部  
[http://www.jmf.or.jp/content/files/houkokusho/reiwa2nendo/report\\_rob.pdf](http://www.jmf.or.jp/content/files/houkokusho/reiwa2nendo/report_rob.pdf)

② 第8回ロボット大賞ガイドブック 7,000部  
[https://robotaward.jp/news/pdf/The%208th%20Robot%20Award%20GB\\_1121.pdf](https://robotaward.jp/news/pdf/The%208th%20Robot%20Award%20GB_1121.pdf)

③ 「ロボット大賞」広報リーフレット 13,000部  
[https://robotaward.jp/news/pdf/The%209th%20Robot%20Award\\_1206leaf.pdf](https://robotaward.jp/news/pdf/The%209th%20Robot%20Award_1206leaf.pdf)

④ 「第8回ロボット大賞」アンケート調査結果  
ガイドブック・14Pを参照

(別紙5)

4 事業内容についての問い合わせ先

団 体 名 : 一般社団法人 日本機械工業連合会  
(ニホンキカイコウギョウレンゴウカイ)

所 在 地 : 105-0011  
東京都港区芝公園三丁目5番8号 機械振興会館5階

代 表 者 : 会長 大宮 英明 (オオミヤ ヒデアキ)

担 当 部 署 : 業務部 (ギョウムブ)

担 当 者 名 : 調査役 水嶋 清孝 (ミズシマ キヨタカ)

電 話 番 号 : 03-3434-5383

F A X : 03-3434-6698

E - m a i l : [kiyotaka\\_mizushima@jmf.or.jp](mailto:kiyotaka_mizushima@jmf.or.jp)

U R L : <http://www.jmf.or.jp/>